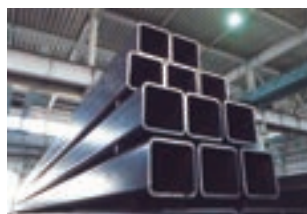




第62期 報告書

平成27年1月1日から平成27年12月31日まで



CONTENTS

P 1 ~ P 2 株主の皆様へ

P 3 販売品目

P 4 連結財務諸表

P 5 会社データ

P 6 株式情報

清和中央ホールディングス

株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



平成28年3月

代表取締役社長
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第62期（平成27年1月1日から平成27年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第62期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、一昨年の消費税引き上げ後の影響も落ち着きを取戻し、原油価格下落の影響や政府の各種経済政策効果により前半までの国内景気は緩やかに回復しておりましたが、年後半は中国経済の減速が国内景気にも影響し、企業の設備投資や個人消費意欲を抑制する展開となり、足踏み状況となりました。一方、国際経済は、米国景気の回復が続き、欧州も堅調に推移しましたが、夏以降、経済の牽引役であった中国経済が大きく減速し、新興国経済も全般に盛り上がり欠ける状況となりました。

鉄鋼業界におきましては、戸建て住宅は持ち直しの動きとなり、非住宅建築も好水準な状況が維持されましたが、自動車国内生産は消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減から抜け出せず、建機業界では排ガス規制に伴う駆け込み需要の反動や新興国成長鈍化に伴う輸出減による減産指向が顕著となり、公共土木向け需要も低迷が続くなど厳しい状況が続きました。また、国内鉄鋼価格については、平成23年4-6月期をピークに鉄鋼資源価格の下落基調の継続に加え、スクラップ価格も急落した事により、年間を通して軟調な展開となりました。

このような経営環境下において、当社グループは収益重視の姿勢を堅持し、仕入面においては在庫の適正化に注力、販売面においては販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりましたが、当連結会計年度の売上高は、490億34百万円（前年同期比5.0%減）、営業利益は8億25百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益は8億99百万円（前年同期比2.3%増）、法人税等を差引いた当期純利益は、5億96百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

今後の課題について

わが国経済の見通しは、雇用、所得環境の改善や各種政策効果による緩やかな回復が期待されます。ただ、米国の金融政策の正常化が進む中、中国を始めとする海外景気の下振れ懸念は、わが国の景気を下押しするリスクとなります。

鉄鋼業界におきましては、前半はまだまだ厳しい需要環境が続くと思われませんが、後半には、大型物流倉庫、不足するホテル建築、オリンピック関連の設備等の建設関連需要が見込まれます。但し、人手不足による工事遅延はリスク要因となります。

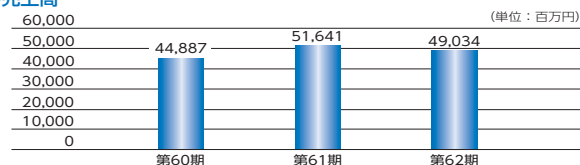
一方、鋼材価格については、まだ値下がり基調の改善には時間を要するものの価格適正化の動きも広がってくるものと予想され、業界においては好材料、悪材料が混在した情勢が続くものと思われれます。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに収益重視の姿勢を堅持、経営基盤を強化し存在感ある企業を目指します。

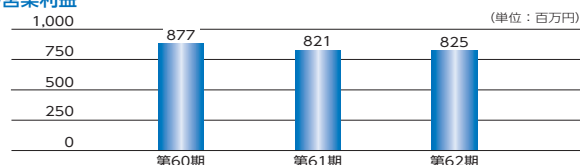
- ① 為替動向に留意し、国際化した鉄鋼市況の変動に素早く対応すべく、短期対応でのきめ細かい在庫調整に努めます。
- ② 取引先のニーズを的確に把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供できるきめ細かい営業体制を一層充実し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

連結財務ハイライト

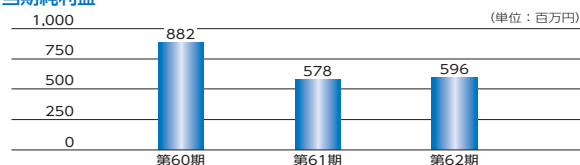
●売上高



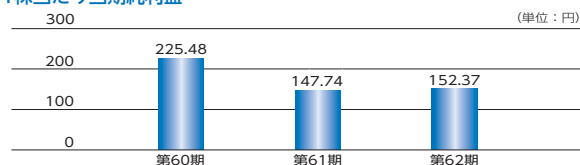
●営業利益



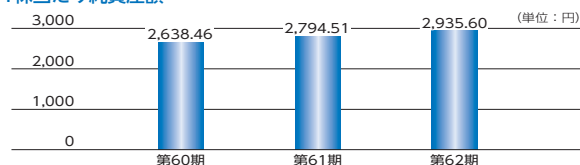
●当期純利益



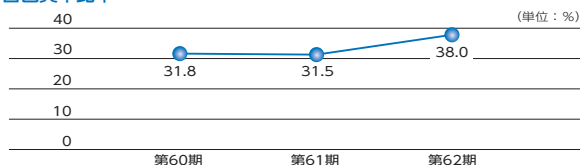
●1株当たり当期純利益



●1株当たり純資産額



●自己資本比率



各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



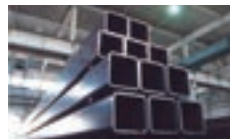
H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

連結財務諸表

Consolidated Financial Statements

〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 平成26年12月31日現在	当期 平成27年12月31日現在
資産の部		
流動資産	25,302	21,059
固定資産	9,409	9,178
有形固定資産	7,403	7,214
無形固定資産	128	95
投資その他の資産	1,878	1,868
資産合計	34,711	30,237
負債の部		
流動負債	21,365	16,543
固定負債	2,213	2,002
負債合計	23,578	18,545
純資産の部		
株主資本	10,341	10,858
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	9,029	9,547
自己株式	△25	△26
その他の包括利益累計額	601	635
その他有価証券評価差額金	601	635
少数株主持分	190	197
純資産合計	11,132	11,691
負債及び純資産合計	34,711	30,237

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで)	当期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)
売上高	51,641	49,034
売上原価	47,223	44,653
売上総利益	4,418	4,380
販売費及び一般管理費	3,596	3,555
営業利益	821	825
営業外収益	117	129
営業外費用	59	55
経常利益	879	899
税金等調整前当期純利益	879	899
法人税、住民税及び事業税	319	375
法人税等調整額	△28	△81
少数株主損益調整前当期純利益	589	605
少数株主利益	10	9
当期純利益	578	596

〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成26年1月1日から 平成26年12月31日まで)	当期 (平成27年1月1日から 平成27年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	469	1,483
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224	18
財務活動によるキャッシュ・フロー	103	△1,538
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	347	△36
現金及び現金同等物の期首残高	1,172	1,519
現金及び現金同等物の期末残高	1,519	1,483

【会社概要】

(平成27年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	7億3,580万円
従業員数	14名 (連結従業員数：186名)

主要な事業内容
当社グループは、当社および子会社6社で構成され、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

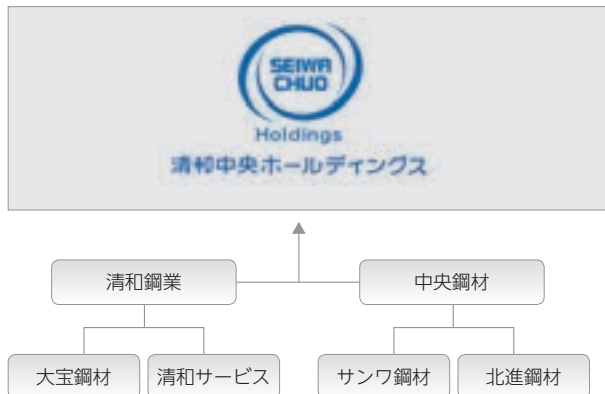
【役員】

(平成27年12月31日現在)

代表取締役社長	阪上正章	
常務取締役	阪上恵昭	管理本部長
取締役	西本雅昭	管理本部副本部長
取締役	後藤信三	
常勤監査役	上山公	
監査役	杉本武	税理士
監査役	岸保典	

- (注) 1. 監査役上山 公、杉本 武、岸 保典の3氏は、社外監査役であります。
2. 監査役上山 公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。
3. 監査役杉本 武氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 監査役岸 保典氏は、平成27年11月30日をもって辞任した前監査役八木千之氏の後任であり、同日付で就任しております。同氏は平成27年3月27日開催の第61期定時株主総会において選任された補欠監査役でありました。

【清和中央ホールディングス組織図】



■ 連結子会社

清和鋼業株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20 TEL：06-6581-2131

中央鋼材株式会社

〒104-0032 東京都中央区八丁堀2-10-9 TEL：03-6891-4800

大宝鋼材株式会社

〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23 TEL：06-6581-2205

清和サービス株式会社

〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29 TEL：072-232-7300

■ 非連結子会社

サンワ鋼材株式会社

〒306-0204 茨城県古河市下大野2000 TEL：0280-92-2111

北進鋼材株式会社

〒131-0041 東京都墨田区八広2-53-6 TEL：03-3611-7161

【株式情報】 (平成27年12月31日現在)

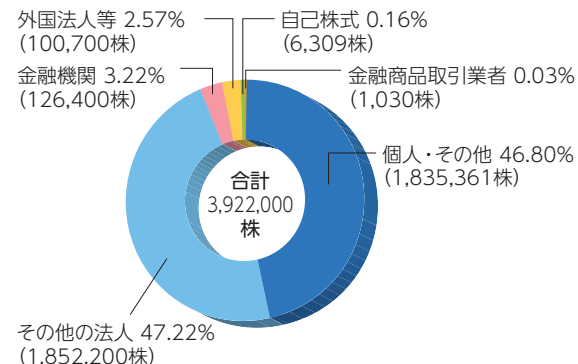
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 239名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
エスケー興産株式会社	495,800 株	12.66 %
阪上 正章	440,480	11.25
新日本工機株式会社	316,200	8.08
阪上 恵昭	281,600	7.19
阪上 寿美子	248,600	6.35
大和製罐株式会社	223,500	5.71
株式会社ワイエムピー	214,500	5.48
山口 久一	119,600	3.05
加藤 匡子	115,700	2.95
小田 宏雄	104,300	2.66

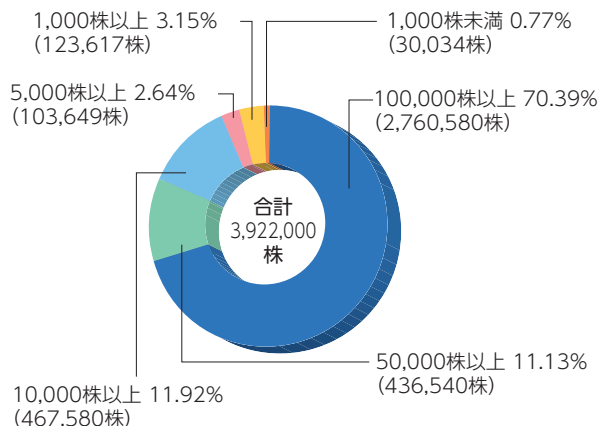
(注) 持株比率は自己株式 (6,309株) を控除して計算しております。

【株式分布状況】 (平成27年12月31日現在)

■ 所有者別株式分布状況



■ 所有株式数別株式分布状況



株主メモ

事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人

特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777（通話料無料）

上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

公告の方法

電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

（ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にでもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内

トップページ



IR情報

